

グローブ修理 気持ち込め ～自分と同じ球児の分まで～

若者コーナー

グローブ修理 気持ち込め

土山快斗13＝中学生
(荒尾市)

僕はスポーツが大好きなので、ウラタスポーツで職場体験学習のお世話になりました。石灰を学校に運んだり、スポーツ用品を修理したり、グラウンド整備で使うとんぼを製作したりすることに取り組みました。石灰は一つ20キあるので重くてつらかったけど、全部運ぶことができました。

特に心に残ったことは、野球で使うグローブのひも通しです。自分も野球をしているので、道具の大切さ

が分かります。自分が修理したグローブはひもが切れていて、頑張っ練習に励んでいる姿を想像しました。白球を追いかけて頑張っている姿を思い浮かべながら、グローブのひもを気持ちを込めてしっかりと通しました。自分と同じ球児の分までしっかりと頑張りました。

バドミントンのガットも修理をしました。とても難しそうで不安も少しありましたが、自分なりに一生懸命に取り組みました。

今回の職場体験を終えて、あらためて道具の大事さを実感しました。働くことはやりがいがあるけど、きついこともあると学びました。

～白球を追いかけて
頑張っている姿
を思い浮かべた。
働くことのやりがい
と、きつさを学んだ～

